

～米山梅吉記念館から～

理事長 内藤成雄

米山梅吉記念館は、わが地区静岡県東部長泉町にあり、米山梅吉翁の出身地であることはご存知の通りです。昭和44年に全国及び地区の諸先輩のご努力で旧館を、平成10年に新館の落成を見、以来全国的な視野で認識されるまでに発展。現在は地区内はもとより、全国の各クラブから移動例会、見学研修訪問等の御利用を頂いております。とは申せ、入館料は無料であり、その維持運営は全額会員の善意の寄附によって賄われております。その中で最も大きいものは本日お手許の資料でもご覧頂けるように、わが地区資金からの助成です。今迄は会員一人1,100円×人数(年間)を基準としてきましたが、会員数減少等の非常処置により苦しい中から450万の助成を先般の諮問委員会でも予算化して頂きました。記念館の重要性に配慮したガバナースタッフの御配慮です。この外、米山記念館奨学会、神奈川2地区、クラブ周年行事寄附、賛助会費、全国のロータリー会員に呼びかけてお一人年間100円募金運動に頼っておる現状であります。



問題点とお願いを数件申し上げます。

- 1) 日本のロータリー組織には米山を冠名とした財団法人が二つあります。一つは米山梅吉記念奨学会と、もう一つは当米山梅吉記念館です。この二つの法人は規模の格差があり、各々法的には独立した法人で、記念館は被助成機関ですが奨学金の附属機関ではありません。少しづつお分かり頂いておるようですが、まだそう思っている方が多くおられます。
- 2) 日本のロータリークラブには殆んどに米山委員会がありますが、その委員会の使命は米山奨学会関係の仕事だけだと思っているのが大部分です。館報でも常にお問い合わせしておりますが、クラブの米山委員会に米山記念館の仕事も加えるよう是非をお願いいたします。

それに関連して特に重ねて本日ご出席のガバナー補佐、クラブ会長、米山委員長の皆様にございます。特にガバナー補佐の皆様は期間中、できれば前後期に分けて所属全区のクラブ、特に新入会員に対し年一～二回、館を訪問するようお取りはかりをお願いいたします。館には春・秋の例祭がございます。この機会等を利用し館を訪れ米山翁を学び、米山精神を研修して頂きたいのであります。

日本のロータリー黎明期の大先輩。日本のポール・ハリスにも比すべき米山梅吉翁を学べる施設は全国を見てもわが地区にある米山記念館だけあります。これはわが地区にある富士山と共にその価値を受け継ぎ、後世に伝えるわが地区の誇るべき使命と確信しております。

昨年秋の例祭に於いて米山奨学会の宮崎理事、宮内監事をお招きして開いたシンポジウム「還ろう・米山梅吉の原点に」でも、奨学会と記念館の相互理解、利用を確認し、記念館は単に米山翁を記念する博物館でなく、更に研修施設として利用発展させていこうと話合ったところであります。

過密なスケジュールの中、この様な貴重な時間と機会をお与え下さったことを重ねて感謝いたします。何卒よろしく願いいたします。